

自殺防止：新しいつながりが、新しい解決力を生む 神戸で22日、講演会 /兵庫

自殺に追い込まれていく命を守るため、先駆的な取り組みから学ぶ

自殺防止推進のため、兵庫県自殺対策連絡協議会などは22日午後2時から、神戸市中央区下山手通5の県看護協会会館ハーモニーホールで、自殺対策基本法成立に貢献したNPO法人ライフリンク（東京都）代表の清水康之さんを講師に招いた講演会を開く。テーマは「自殺総合対策へ～新しいつながりが、新しい解決力を生む～」で、先駆的な取り組みから学び、自殺に追い込まれていく命を守るためには、何が必要か考える。

全国で自殺者は8年連続で年間3万人を超えている。元NHKディレクターで自殺問題に取り組んでいた清水さんは「自殺は社会問題。対策を推進するためには、法的な根拠が必要」と訴え、法制化実現を目指し署名活動を展開。わずか1カ月半で10万人を超える署名を集め、国会や国に働きかけた結果、昨年6月、国と自治体、国民に自殺対策の責務を課した自殺対策基本法が成立した。

講演会では清水さんは、こうした国を突き動かした取り組みを紹介。自殺に追い込まれている人たちを守っていくためには、実務を重視した対策を講じていく必要性を訴える。質疑応答もある。

同協議会は、同法成立を受け、昨年11月に設置された官民のネットワーク組織。講演会を機に関係機関・団体の連携を深めて、一体となった取り組みを検討していく。

講演会は無料で、一般参加者も歓迎。問い合わせは県立精神保健福祉センター（078・252・4980）へ。【桜井由紀治】

[毎日新聞] 20070120